

桜を愛する日本人の心に感動しました！

国際交流員／エレン・ウー



先月お花見に行ってきました。お花見は日本独特の文化だと思います。国を代表する花を觀賞しながら、公園や桜並木の下で敷物を敷いておいしいものを食べたり、お酒を飲んだり、楽しく過ごしたりできるのは本当に幸せだと思います。オーストラリアには、お花見のような文化がありません。また、公園などの公共の場所での飲酒も許されていないことが多いです。オーストラリアでは、公園でピクニックをするとき、一緒にいる人との会話やフリスビー、クロッキーなどのゲームを楽しむので、花には焦点が当たりません。



▲大府北中学校庭内に植えた桜の手入れをする近藤さん

そこで私は、日本人が桜を愛する理由を探るため、愛知大府さくらを愛する会の近藤慎さんを訪ね、話を聞きました。この日、大府北中学校で桜の手入れをしていた近藤さんからは、「枝を切るときは、枝先だけでなく、枝元から切る必要があり、そうすることで、春に美しい花が咲く」と教えていただきました。私は桜の木を一本一本丁寧に手入れをしている様子を見て、日本人の心には「自然をあがめる」気持ちがあると感じました。

桜にはいろいろな種類があることを教えていただいたので、次は少し違う角度からもお花見が楽しめそうです。



料金受取人払郵便
大府郵便局
承認
747
差出有効期限
平成31年4月30日まで
(切手を貼らずに
お出してください)

郵便はがき

4 7 4 8 7 9 0

〈受取人〉
大府市役所
広報広聴課 行



広報おおぶ「みんなの声」専用はがき

年齢 / 歳 性別 / 男・女

広報おおぶの今後の編集や企画に生かしていきたいと思っています。
ご意見をお聞かせください。

広報広聴課 ☎(45)6214

「みんなの声」使い方

- 1 広報紙から切り取ってください。
- 2 アンケート欄に記入してください。
- 3 半分に折り内側全面をのり付けてください。
- 4 ポストに投函してください。

Q1 今回の広報おおぶで、文字・色・構成などについて、見やすいと思った記事、見にくいと思った記事とその理由をお聞かせください。(下表の番号を記入してください。複数回答可)

見やすい() 見にくい()

理由

Q2 今回の広報おおぶで、面白い・役に立った記事、そうでなかった記事とその理由をお聞かせください。(下表の番号を記入してください。複数回答可)

面白い・役に立った()
そうでなかった()

理由

Q3 今後取り上げてほしい企画や広報おおぶへのご意見・ご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

1143

【この号の内容】 ①マンガ広報 ②特集「みんなでつながり、いじめをしない、させない、見逃さないまちへ」 ③市政NEWS ④情報パック ⑤Ellen's Corner ⑥金婚カンコン ⑦みんなにごあいさつ ⑧夢キラリ人 ⑨その他

仕事も趣味も、 大切な周りの方々がつなげてくれた



伊藤道枝さん・進治さん

(72歳・76歳、柘山町)

挙式：昭和41年11月27日
 (寄り添い51年)

◆馴れ初めは？

【進治】2人とも西尾出身。母親同士が同じ所で茶摘みをしていたのがきっかけです。

【道枝】お父さん、今はこうですけど、昔はいい男でしたよ(笑)。

【進治】初めて会うまで心配でしたが、お母さんもぱっと見で好みでした！

◆若い頃何をしていました？

【進治】一貫して金型工場で勤めました。30歳ごろまで地元で働いていましたが、知人が大府で開業する際に声を掛けてもらい、移り住んだんです。

【道枝】私は知人の紹介で、ミュージシャンがせで30年ほど働きました。つい2年前までお世話になりました。

◆趣味は。

【進治】仕事も趣味も細かな作業が好きで、水墨画を30年習っています。小学生の頃から絵が好きで、掛け軸などを自分で描けたらと思って習い始めたのがきっかけ。今では、50点くらい作品がありますよ。

【道枝】毎朝1時間のウォーキングは、かれこれ10年続いています。仲間が2人いますが、元々は個々で歩いていた3人が度々出くわすようになって、いつしか一緒に歩くようになったんです(笑)。

◆思い出深い出来事は。

【進治】お母さんの弟3人の夫婦と毎年出掛ける旅行は、かれこれ12年ほど続く楽しいひとときです。最近では、長野の土^{ちつ}グ頭^{かぶ}に行ってきました。

◆これまでを思い返して。

【道枝】仕事も趣味も、思い返せば人とのつながりからくるものばかり。本当に、周りの方に恵まれてきたと実感します。ありがたいですね。

みんなに
ごあいさつ

3歳以下のおおぶキッズをご紹介！

掲載希望の方は広報広聴課へご連絡ください。

広報広聴課 ☎(45)6214



ゆい
佐藤 由唯さん

平成29年1月20日生まれ
 圭太さん(父) 美有さん(母)

みんなに癒しを与えるのが得意なゆいだよ♪ 最近少し歩けるようになってうれしくて笑顔がとまらないんだ♪ もっともっといっぱい練習して大好きなお兄ちゃんとお手々つないで歩きたいなっ♪



りひろ
松浦 李宥さん(左)

平成29年4月15日生まれ
 光さん(父) 玲緒奈さん(母)

はじめまして！ りひろです。じゅらんお姉ちゃんが大好き！ 絵本を読んでもくれたり、お歌を歌ってくれるんだ！ 僕が歩けるようになったら、お姉ちゃんが大好きな散歩や、公園で一緒に遊びたいな！

広報おおぶの紙面を飾ってくださる方を大募集！

募集しているのは、「金婚カンコン」「みんなにごあいさつ」「表紙などの読者モデル」。掲載された方には、掲載した写真を、広報おおぶの表紙風に加工してプレゼント。記念に1枚いかがですか？ 詳細は市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 広報広聴課 ☎(45)6214



世界をもっと知って、みんなに発信したい

伊藤 優花さん

第57回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテストで日本国際連合協会会長賞を受賞し、3月に米国ニューヨークの国連本部を視察研修として訪れた、伊藤優花さん。この春中学校を卒業したばかりの15歳です。

小さい頃から通っている英語教室の先生の影響で海外に興味を持ち始めた伊藤さん。留学などの情報を集めているさなか、入賞者が国連本部への視察研修に参加できる作文コンテストを知り、「国際機関で働くことに興味があったので、チャンスだと思い応募しました」と話します。作文では、同年代の日本人が参加し、一人一人異なる国の立場に立って議論を行う模擬国連に参加した経験から、世界平和のために異文化理解が果たせる役割をテーマとし、異なる立場を理解する大切さと難しさを表現しました。「異文化の理解だけで国際問題が解決するわけではないけど、重要な要素ということを伝えたかったです」と熱く話します。

視察研修では、国連本部やユ

ニセフなどを訪問し、職員から現場の生の声を聞くことができました。そう、「職員の方は皆さん『世界を良くしたい』という思いが強く、様々な視点を持っているのが印象的でした。いろいろな人が対等に働いている国連ならではの感じました」と貴重な経験を振り返ります。

将来の夢について、「国際的な活動ができる、国連職員や外交官になりたいです。9月から進学するインターナショナルスクールで吸収したことをブログなどで発信して、それが多くの人の世界に目を向けるきっかけになればうれしいです」と話します。伊藤さんは夢に向かって、世界へと飛び出していきます。



アウトドアレジャーが楽しくなる季節です。バーベキューやキャンプは非常用品の準備にもうってつけ。必要なものを楽しくイメージしながら準備ができますよ。水や食料品、卓上用コンロのガス缶、電池などはちょっと多めに買い置きを。スマホの予備バッテリーやヘッドランプも大いに役立ちます。楽しく準備して、不安を減らしておきましょう。(加)